

## 「情報公開文書」

受付番号：2024-4-9011

課題名：iPS 細胞を用いた疾患リスク予測モデルの検証研究

研究責任者：ゲノム解析部門・教授・木下 賢吾

### 1. 研究の対象

東北メディカル・メガバンク計画のコホート調査参加者のうち解析済みのゲノム情報を有する方、最大約 15 万人

### 2. 研究目的・方法

【研究期間及び試料・情報の利用又は提供を開始する日】

研究期間：2024 年 9 月（研究実施許可日）～2029 年 3 月

試料・情報の利用又は提供を開始する日：研究実施許可日

【研究目的】

本研究では、疾患リスク予測モデルの構築を行い、得られた予測モデルの生物学的意義を明らかとするために、バイオバンク・ジャパン、東北大学、理化学研究所、京都大学が連携して、iPS 細胞を用いた機能評価を行います。疾患リスク予測モデルの生物学的意義について明らかとし、将来的なゲノム医療・精密医療のための基盤データ整備をすすめます。

【研究方法】

本研究では、バイオバンク・ジャパンが実施した 2003～2012 年度「オーダーメイド医療実現化プロジェクト（第 1 期・第 2 期）」、2013～2017 年度「オーダーメイド医療の実現プログラム（第 3 期）」に参加された方のゲノム情報などを利用していただき、疾患リスク予測モデルの構築を行います。更に得られた予測モデルの生物学的意義を明らかとするために、東北大学、理化学研究所、京都大学などと連携して、iPS 細胞を用いた機能評価を行います。東北メディカル・メガバンクにご参加頂いている方の内、遺伝子情報に基づき、疾患リスクが高い方、低い方を抽出し、東北メディカル・メガバンクで凍結保管されている末梢血単核球の提供を受けます。この細胞を用いて京都大学にて iPS 細胞を作成します。さらに様々な細胞に分化させることで、疾患リスク予測モデルの生物学的意義について明らかとし、将来的なゲノム医療・精密医療のための基盤データ整備をすすめます。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：基本情報（年齢、性別）、ゲノム情報、調査票情報、健康調査情報、検体検査情報、メタボローム情報

試料：単核球

### 4. 外部への試料・情報の提供

#### 【情報の提供を行う機関】

機関名称：バイオバンク・ジャパン

研究代表者名：松田 浩一 東京大学教授

#### 【提供を行う情報】

情報：基本情報（年齢、性別）、ゲノム情報、調査票情報、健康調査情報、検体検査情報、メタボローム情報

東北メディカル・メガバンク機構において個人が特定できないように加工した情報を、ToMMo スーパーコンピュータ内で共同研究機関に提供します。

#### 【試料の提供を行う機関】

機関名称：京都大学 iPS 細胞研究所

研究責任者名：吉田 善紀 准教授

#### 【提供を行う試料】

試料：単核球

### 5. 関係研究組織

研究代表機関：バイオバンク・ジャパン（東京大学・理化学研究所）

研究代表者：松田 浩一 東京大学教授

共同研究機関：東北大学東北メディカル・メガバンク機構

研究責任者：木下 賢吾 教授

共同研究機関：京都大学 iPS 細胞研究所

研究責任者：吉田 善紀 准教授

### 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申下下さい。

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 バイオバンク室  
〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL : 022-272-3103

東北大学の東北メディカル・メガバンク事業に協力された方で、本研究に限って試料・情報の利用を希望されない方は、下記までご連絡下さい。

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 地域住民コホート担当  
〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL : 022-718-5161

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構 三世代コホート担当  
〒980-8573 宮城県仙台市青葉区星陵町 2-1 TEL : 022-718-5162

#### ◆個人情報の利用目的の通知

保有個人情報の利用目的の通知に関するお問い合わせ先：「6. お問い合わせ先」

#### ※注意事項

以下に該当する場合にはお応えできないことがあります。

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1>

<個人情報の保護に関する法律第21条の4>

- ①利用目的を本人に通知し、又は公表することにより本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該個人情報取扱事業者の権利又は正当な利益を害するおそれがある場合
- ③国の機関又は地方公共団体が法令の定める事務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、利用目的を本人に通知し、又は公表することにより当該事務の遂行に支障を及ぼすおそれがあるとき。
- ④取得の状況からみて利用目的が明らかであると認められる場合

#### ◆個人情報の開示等に関する手続

東北大学が保有する個人情報のうち、本人の情報について、開示、訂正及び利用停止を請求することができます。

保有個人情報とは、東北大学の役員又は職員が職務上作成し、又は取得した個人情報です。

保有する個人情報については、所定の請求用紙に必要事項を記入し情報公開室受付窓口へ提出するか又は郵送願います。詳しくは当機構HPよりプライバシーポリシーを確認の

上、請求手続きのホームページをご覧ください。（※手数料が必要です。）

【東北大学東北メディカル・メガバンク機構プライバシーポリシー】

<https://www.megabank.tohoku.ac.jp/contact/privacypolicy>

【東北大学情報公開室】

<https://www.bureau.tohoku.ac.jp/kokai/disclosure/index.html>

#### ※注意事項

以下に該当する場合には全部若しくは一部についてお応えできないことがあります。

<人を対象とする生命・医学系研究に関する倫理指針 第9章第18の1>

<個人情報の保護に関する法律第33条の2>

- ①本人又は第三者の生命、身体、財産その他の権利利益を害するおそれがある場合
- ②個人情報取扱事業者の業務の適正な実施に著しい支障を及ぼすおそれがある場合
- ③他の法令に違反することとなる場合